

介護医療院 牛尾病院

- ・稼働率は常に 97.8%程度を維持している。

稼働率が下がることはなく、牛尾病院の一般棟入院の方で常に待機者がいる。介護度の平均が要介護 4.7 というのは入所時から介護度が重い方が多い。病院から来る時に、要介護度が軽く動ける方は、同法人系列のけやき(老健)にご入所になることも多い。ただし同法人に偏らないように他施設(エスパーロ含む)などにも紹介することもきちんと考え、ご家族様と相談しその方の住まいの場所や主治医などを考慮しご案内するようにしている。

- ・入所時の窓口は相談員が面談し入所プランも立案する

→その後は施設ケアマネに引き継ぐ→退所時は再び相談員が中心となり施設ケアマネと連携して行っている。

- ・在宅復帰 2022 年は 1 名、他施設に移行した方は数名いる。

- ・看取り 2022 年は 60 名、2023 年 11 月時点で 30 名。

- ・看取りについて、入所の際全ての方に説明をしている。入所後、医師の指示で看取り開始となる。基本は個室対応。入所時に説明している為、居室移動や変更もスムーズに行え、今までにご家族様から居室移動に対し苦情などは来たことがなく協力的。病床からの転換だった為、全居室ベッドに酸素の用意は出来るようになっていく。

- ・介護医療院への転換に当たっては、地域の方に対しても説明会を開催した。

- ・入所者の男女比は、4 人部屋×3 室が男性、他女性。男性の 4 人部屋がもう 1 部屋増える事もあるが、基本はこの比率でご案内している。

- ・加算は、人員配置やその他の理由で、短期集中、排泄、自立支援も算定していない。

- ・リハは週 1~2 回介入、その方によって違いはあるが、ベッド上でのトレーニングや車椅子への移乗が主だったものとなっている。リハの企画で週 1 回デイルームにて映画の上映(最近では、おしんや寅さん)を行っている。

- ・吸引は入所者 60 名中 50 名くらい必要。介護士もほぼ喀痰吸引が可能。

看護師で喀痰吸引を教える資格を持っている者もいるため、講習も可能となっている。

- ・面会は透明なパーテーションを使用し対面での面会、月に 2 回まで行える。

- ・4 人部屋の仕切りは、可動式のパラマウントのパーテーション。木目調で、畳 2 枚分くらいに広がる。8 年前にカーテンから移行して、パラマウントの業者に取り付けて頂いた。居室もエスパーロよりも広い。

- ・食事は基本全員離床してデイルールにて召し上がる。車椅子も厳しい方はベッド出ししている。胃瘻は作っている方はほぼいない。

- ・入浴は週2回（月・木）で実施。病院患者との兼ね合いもあり、全入所者60名をミスト浴にて入浴している。朝8:30～10時までに20名くらい。昼12:30～17時に残りの方といった具合に入浴されている。二人介助のトランスファーが多く職員の体力を考え、男性のご入所者から入浴を行っている。

職員配置は、浴室内が看護師を含む3名、脱衣室での更衣が3名。祝日は、特変時に指示を仰ぐ待機医が不在な為入浴は実施せず、全て清拭と着替えを行っている。

- ・散髪は毎週一回、契約している業者が来訪。一度に3名ほど利用されている。ベッド上でカットする方も多く、必要な時には散髪業者の方が3名来て協力してカットしてくれている。

相談員 中山